



KOBE BUSSAN CO., LTD.



平成 26 年 11 月 18 日

各 位

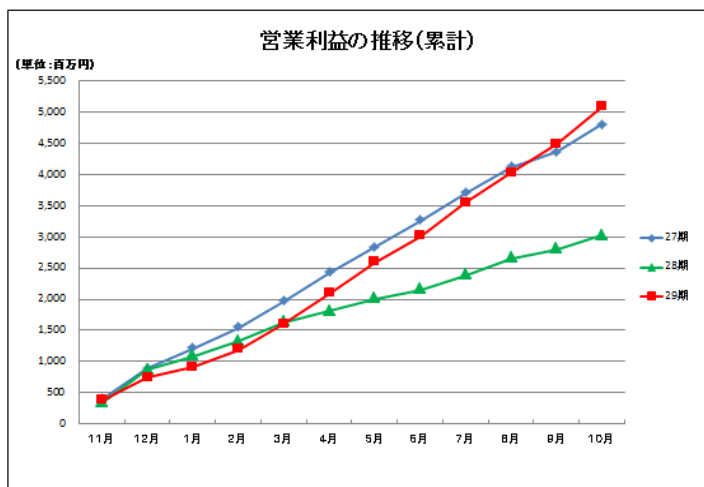
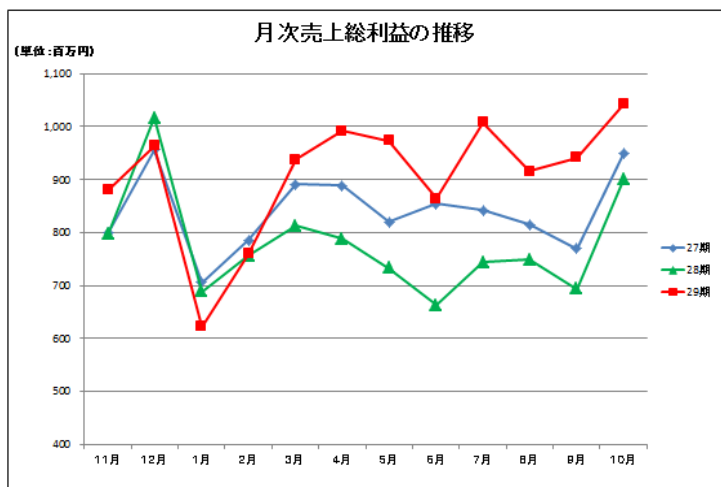
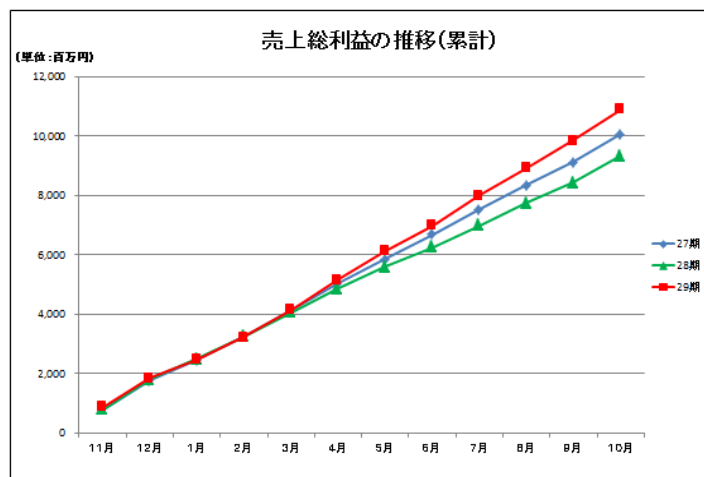
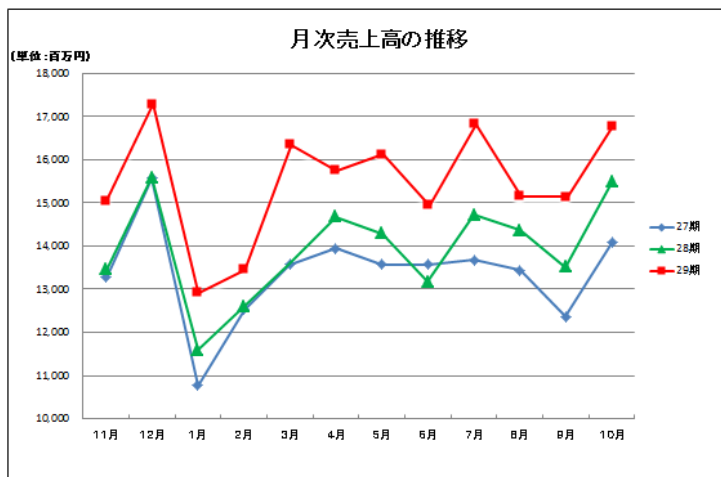
会 社 名 株 式 会 社 神 戸 物 産
 (コード番号：3038 東証第1部)
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 沼 田 博 和
 問 合 せ 先 取 締 役 兼
 経 営 企 画 部 門 部 門 長 矢 合 康 浩
 TEL 079-496-6610

月次 IR ニュース

当社の平成 26 年 10 月の個別ベースの売上高、営業利益についてお知らせいたします。なお、開示する実績につきましては速報値であり、監査法人による監査を受けておりませんので、四半期・本決算の数値と異なる場合は、更新時に適宜修正いたします。

記

1. 業績（速報値）



2. 業務スーパー月次出店数

		11月	12月	1月	2月	3月	4月
直轄エリア	出店数	4	5	2	-	-	7
	退店数	-	-	1	2	3	1
	店舗数	372	377	378	376	373	379
地方エリア	出店数	2	1	1	-	-	1
	退店数	2	1	-	-	-	2
	店舗数	288	288	289	289	289	288
FC店舗数合計		660	665	667	665	662	667
直営店舗数合計		2	2	2	2	2	2
総店舗数		662	667	669	667	664	669
		5月	6月	7月	8月	9月	10月
直轄エリア	出店数	2	1	3	2	1	3
	退店数	-	-	-	1	-	-
	店舗数	381	382	385	386	387	390
地方エリア	出店数	-	4	1	-	-	1
	退店数	-	1	-	-	-	-
	店舗数	288	291	292	292	292	293
FC店舗数合計		669	673	677	678	679	683
直営店舗数合計		2	2	2	2	2	2
総店舗数		671	675	679	680	681	685

3. 当社から「業務スーパー」店舗への出荷実績（前年対比）

（単位：％）

		11月	12月	1月	2月	3月	4月
直轄エリア	既存店	102.7	102.6	103.8	100.5	114.4	102.2
	全店	108.4	108.2	109.6	106.0	119.5	106.8
地方エリア	既存店	104.1	103.0	105.6	99.5	115.5	102.5
	全店	107.4	105.6	108.6	102.1	117.5	104.8
合計	既存店	103.1	102.7	104.2	100.3	114.7	102.3
	全店	108.1	107.5	109.3	105.0	118.9	106.3
		5月	6月	7月	8月	9月	10月
直轄エリア	既存店	107.1	106.6	107.2	104.3	102.9	104.2
	全店	111.7	111.0	111.7	107.9	106.2	107.0
地方エリア	既存店	108.2	111.0	112.8	107.3	110.1	108.2
	全店	110.6	113.3	114.0	108.5	111.7	109.6
合計	既存店	107.4	107.7	108.6	105.1	104.7	105.2
	全店	111.4	111.6	112.3	108.1	107.6	107.7

※商品の出荷実績のため、ロイヤルティ・什器売上高等が含まれておりません。

4. 売上高前年同月比の推移（(株)神戸物産売上高）

（単位：％）

11月	12月	1月	2月	3月	4月
111.8	110.9	111.4	106.7	120.1	107.3
5月	6月	7月	8月	9月	10月
112.8	113.4	114.3	105.5	112.0	108.3

5. 概況

平成 26 年 10 月度における月次業績ですが、当月の個別売上高は前年同月比 **108.3%** の **167 億 78 百万円**、営業利益は同 **308.5%** となりました。また、既存店売上高が同 **105.2%**、全店売上高は同 **107.7%** で推移致しました。

「**業務スーパー**」の店舗数ですが、出店が直轄エリアで **3 店舗**、地方エリアで **1 店舗** あり、総店舗数は全国で **685 店舗** になりました。

また、8 月 29 日～10 月末日まで業務スーパーにて「お客様大感謝セール」を開催し、たくさんのお客様にご来店頂きました。

当社はこれまで、日本国内において自社食品工場の増強を図って参りましたが、その結果、日本国内での食品工場保有数は 19 となり、食品小売業界で「日本一」(※) になりました。

当社は、引き続き「**6 次産業『真』の製販一体**」というグループとしての目標を達成するため、国内外の農畜水産事業の強化、「**安全・安心**」を徹底するための商品管理、消費者ニーズを捉えたオリジナル商品の製造に注力し、ムダ、ロス、非効率を徹底的に排除したローコストオペレーションの実践により、高品質で魅力のある商品をベストプライスでご提供してまいります。

(※大手調査機関により、食品小売業界で当社より売上規模が大きく、且つ 100%出資の国内食品工場を保有している会社を対象として 2014 年 8 月に調査)

以上